

広報

Reuse Reduce Recycle

にしはりま 環境事務組合

VOL. 8

2008年3月31日発行

にしはりま循環型社会拠点施設整備事業

土地造成・進入道路工事が 始まりました

- 土地造成及び進入道路工事概要
- 工事中の環境の保全について
- 工事中の環境影響調査
- 環境保全委員会の設置
- 供用開始スケジュールの見直し

..... 2~3ページ



入り口のちよびじした工夫から

循環型社会をめざしましょう

キーワードは「5R(5つのアール)」

にしはりま環境事務組合議会…4

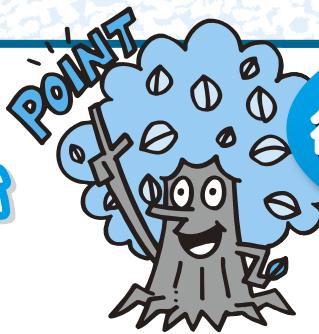
みんなで循環型社会をめざしましょう!…5
～ごみの減量が大切、できることから始めよう～

契約業務のお知らせ…6
平成20年度工事等発注予定のお知らせ

にしはりま環境事務組合の主要経過…7

エコドライブを始めてみませんか!…8

土地造成・ 進入道路工事が 始まりました



にしはりま
循環型社会拠点施設
整備事業

本年2月に、「土地造成及び進入道路工事」の入札手続きを行い、2月28日の組合議会において、工事請負契約の締結について可決されました。

平成15年8月に、にしはりま環境事務組合が設立され、4年半の歳月をかけてようやく建設事業に着手する運びとなりました。

今後、住民説明会等で工事内容を説明しながら、施設用地の造成工事と進入道路工事が本格的に進められます。

工事の概要等をご報告しますので、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします。

■工事箇所図



■実施箇所位置図



■ 土地造成及び進入道路工事概要

- 工事概要
 - ①土地造成工事 約5.0ha(造成平地部 約3.2ha)
 - ②進入道路工事 L=1,450m W=5.5(7.0)m
 - ③調整池 重力式コンクリート堰堤 1箇所(H=14.5m W=53.0m)
 - ④工事用仮設道路 L=1,160m W=3.5m(現道拡幅)
- 工期 平成20年2月29日～平成22年3月31日
- 工事契約内容
 - ・契約金額 995,400千円(消費税込み)
 - ・請負業者 宮本・山陽・福原特定建設工事共同企業体

■工事中の環境影響調査

工事期間中には、周辺環境の状況を調査し、環境の保全対策を確認します。また、施設の稼働前の現況調査も行います。

○環境調査項目(工事期間)

環境要素	調査項目	
大気汚染	建設資材の運搬車両の走行台数	
騒音	建設作業音	
	建設資材の運搬車両の走行台数	
振動	建設作業音	
	建設資材の運搬車両の走行台数	
水質汚濁	調整池	濁度、透視度、流量、pH、SS
	河川	流量、pH、SS
		水質(健康項目等) ダイオキシン類
	地下水	水道水質基準 ダイオキシン類
	簡易水道	水道水質基準 ダイオキシン類
土壤汚染	土壤汚染環境基準 ダイオキシン類	
植物	貴重種の生育状況確認 自生地・移植先の環境調査	
動物	貴重種の生息状況の確認 生息地周辺・移植先の環境調査	

*具体的な調査頻度は、造成工事の施工状況に合わせて実施します。

■工事中の環境の保全について

造成工事等による周辺環境への影響を低減するため、次の措置で環境保全に努めます。

○大気汚染、騒音、振動

- ①工事中の粉じん防止
 - ・工事関係車両の洗車や散水等により、粉じんの飛散を防止
 - ・搬出道路の清掃
- ②建設機械に関する保全
 - ・低騒音、低振動、排ガス対策型の建設機械の導入
 - ・機器配置や工事期間の集中を避ける
 - ・必要以上のアイドリングや空ぶかしはしない
- ③資材運搬車両に関する保全
 - ・速度や積載量等の交通規制の遵守
 - ・搬入車両の時間分散化
 - ・必要以上のアイドリングや空ぶかしはしない

○水質汚濁

- ①工事中の濁水流出台防止
 - ・仮設沈砂池、調整池を設置し、沈砂処理後に放流
 - ・気象条件に十分留意して、工事を実施する
 - ・のり面の整形後、すみやかに種子吹き付け、植栽を行う
 - ・フトン籠、透水マット等の設置
 - ・仮設沈砂池、調整池の土砂除去等の適正管理

■環境保全委員会の設置

環境への影響状況を明らかにし、住民の皆さまからご意見をいただくことを目的に、学識経験者や住民委員からなる「環境保全委員会」を設置することとしています。

工事期間中の調査状況や今後の施設の稼働状況について、ご意見をいただくながで、安全、安心の確保に努めてまいります。

■供用開始スケジュールの見直し

これまで、平成16年8月に整備スケジュールを見直し、平成22年4月の供用開始をめざして事業を進めてきました。

その間、諸計画の見直しや都市計画決定等の法的手続きを経て、このたびの土地造成及び進入道路工事の発注に至ったところですが、これまで相当の期間を要してきました。

今回、土地造成及び進入道路工事の詳細設計ができたことと、施設の基本設計策定作業のなかで、具体的な施工期間も計画できることとなり、これまでの施設供用開始時期を、平成24年当初に見直しを行いました。

ごみ処理施設は、住民生活に密着した施設であり、1日も早い完成をめざして鋭意取り組んでまいりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
土地造成工事 進入道路工事					
熱回収施設					
リサイクルセンター					
試運転					

にしはりま環境事務組合議会

第10回定例会

■月日 平成19年8月27日(月)

■場所 県立先端科学技術支援センター

本議会では、平成18年度予算の繰越報告をはじめ、専決処分の承認、監査委員の選任同意、平成18年度歳入歳出決算の認定が行われました。

報告

- 1件の報告が行われました。
 ①平成18年度繰越明許費繰越計算書の報告について

- ①平成18年度一般会計歳入歳出決算の認定
 【可決】
 (歳入総額8,349万4,258円・歳出総額7,694万6,768円とする)

- 2件の専決処分が承認されました。
 ①職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
 【承認】
 ②地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
 【承認】

- 組合議員名簿(議席順)(敬称略)
 平成20年2月現在
- | 氏名 | 選出市町 |
|-----------|------|
| 木村 達夫 | 姫路市 |
| 松葉 正晴 | 姫路市 |
| 三里 茂一 | たつの市 |
| 栗本 一水 | たつの市 |
| 田中 豊俊 | 宍粟市 |
| 田中 基次 | 宍粟市 |
| 船曳 鶴雄 | 宍粟市 |
| 村上 昇 | 上郡町 |
| 正木 悟(議長) | 上郡町 |
| 新田 俊一 | 佐用町 |
| 松尾 文雄 | 佐用町 |
| 森本 和生 | 佐用町 |
| 西岡 正(副議長) | 佐用町 |

監査委員の選任について
 [同意]

[議会選出]
 坂口 榮氏(佐用町)
 船曳 順市氏(宍粟市)

- ①土地の取得について【可決】
 佐用郡佐用町三ツ尾字八町
 483番地1外31筆
 地目 田及び山林
 面積 231,890m²
 目的 施設及び進入道路用地
 取得予定価格 23,501,600円
 ②工事請負契約の締結について【可決】
 兵庫県公営企業管理者
 契約の相手方
 工事名 土地造成及び進入
 特定建設工事共同
 企業体
 請負業者 宮本・山陽・福原
 契約金額 995,400千円
 ③特別職等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
 【可決】
 ④平成19年度一般会計歳入歳出補正予算
 【可決】

平成20年度の主な事業計画

- 建設地周辺地域住民の理解と協力の確保
- 広い住民の理解と協力の確保
(旧三日月町域・光都・鞍居地区等)
- 専門的見地からの指導助言の確保
- 圏域住民の参画と協働、透明性の確保
・環境保全委員会(新規)
- 循環型社会拠点施設整備
・土地造成及び進入道路工事(継続)
・発注仕様書の作成(継続)
・施設発注の手続き(新規)など
- 事務組合の適正かつ民主的・効率的運営

第11回定例会

■月日 平成20年2月28日(木)

■場所 県立先端科学技術支援センター

本議会では、土地の取得をはじめ、工事請負契約の締結、条例の改正、平成19年度補正予算及び平成20年度当初予算の議決が行われました。

議案

- ①土地の取得について【可決】
 (歳入歳出それぞれ7,928万3千円を減額し、歳入歳出総額を73,911万4千円とする)
 ⑤平成20年度一般会計歳入歳出予算
 (歳入歳出総額を34,587万7千円とする)
 【可決】



みんなで循環型社会をめざしましよう!

～ごみの減量が大切、できることから始めよう～

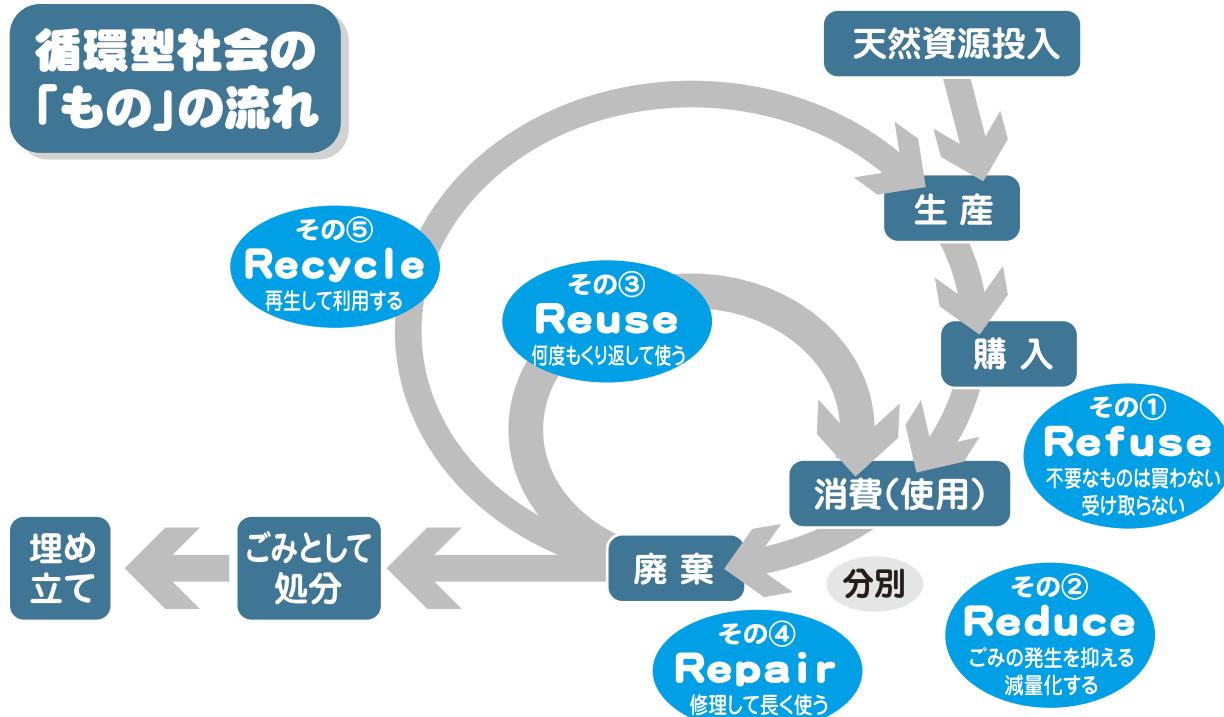


近年、地球温暖化や資源の枯渇、ごみ問題など地球規模での環境問題が深刻化しており、資源を有効に活用し、ものを大切に使う環境にやさしい「循環型社会」への転換が求められています。

この循環型社会をつくるには、行政、事業者、そして住民が協働して取り組む必要があります。そして一番大切なことは、私たち一人ひとりが日々の生活のなかでごみを減らすことです。

そのキーワードが「5R(5つのアール)」! ちょっとした工夫でご家庭のごみを減らすことができます。ぜひ、できることから始めましょう。

循環型社会の「もの」の流れ



5Rの取り組み

その
①

Refuse (リフューズ) 不要なものは買わない、受け取らない。

- 買い物には買い物袋を持参する。
- 過剰包装やサービスの割りばし、スプーンは断る。
- 食材は必要な量だけ買い、使い切る工夫をする。
- 割りばしや紙コップなどの使い捨て商品は、使う場所や目的に応じて考えて使う。

その
②

Reduce (リデュース) ごみの発生を抑える、減量化する。

- 調理の際には適量を心がけ、食べ残しをしない。
- 生ごみの水切りはしっかり行う。
- ベビー用品や旅行用品などの一定期間しか使わないものはレンタル品を活用する。

その
③

Reuse (リユース) 一度使っただけで終わらせず、何度もくり返して使う。

- 詰め替え商品を選ぶ。
- 人に譲ったり、フリーマーケットを活用する。
- ペーパータオルの使用を控え、ふきんを活用する。
- くり返し洗って使える牛乳びんやびんピールなどを選ぶ。

その
④

Repair (リペア) 使えるものは修理してできるだけ長く使う。

- 電化製品や家具などの耐久消費財を買うときは、自分の値段やデザインにこだわらず長く付き合える商品を選ぶ。
- 電化製品や家具などは、故障しても修理や部品交換で長く使い続ける。

その
⑤

Recycle (リサイクル) 原材料として再生して利用する。

- 牛乳パックや食品トレイなどは店頭回収に協力する。
- 新聞、雑誌、段ボール、アルミ缶などの資源物は地域の再生資源回収に出す。
- 資源ごみなどは、決められた分別をきちんと行う。
- エコマーク製品やリサイクル製品を積極的に選ぶ。

契約業務のお知らせ

○にしはりま循環型社会拠点施設(熱回収施設及びリサイクル施設) 建設に係る工事発注図書作成等業務

業務内容 : 基本設計書・見積発注仕様書の作成、見積図書の整理と評価支援、最終発注仕様書作成、リサイクルプラザ運営計画書の作成、工事発注に関する補助業務

契約相手 : (株)日建技術コンサルタント

契約期間 : 平成19年7月18日～平成21年3月25日

委託料 : 9,324,000円(税込み)

入札契約 : 制限付一般競争入札



○環境測定分析業務

業務内容 : 環境測定分析業務(採取・分析・測定)
水質汚濁、土壤汚染

契約相手 : (財)ひょうご環境創造協会

契約期間 : 平成19年7月24日～平成20年3月31日

委託料 : 2,348,850円(税込み)

入札契約 : 制限付一般競争入札

○土地造成及び進入道路工事

工事内容 : 土地造成工事、進入道路工事、調整池、工事用仮設道路

契約相手 : 宮本・山陽・福原特定建設工事共同企業体

契約期間 : 平成20年2月29日～平成22年3月31日

委託料 : 995,400,000円(税込み)

入札契約 : 制限付一般競争入札

平成20年度工事等発注予定のお知らせ

業務名 : 環境監視調査業務(仮称)

入札時期 : 平成20年4月～5月

種別 : コンサルタント業務

入札方法 : 一般競争入札



工事名 : 工事監理業務(仮称)

入札時期 : 平成20年7月～9月

種別 : コンサルタント業務

入札方法 : 一般競争入札

工事名 : 施設整備工事(仮称)

入札時期 : 平成21年1月～3月

種別 : 清掃施設工事

入札方法 : 一般競争入札

※詳しくは、随時ホームページ等に掲載します。

にしはりま環境事務組合の主要経過

(平成19年3月～平成20年3月)

[平成19年]

- 3月30日 組合規約変更知事許可(議員定数、負担割合、地方自治法の改正に伴う変更)
- 3月27日 鞍居地区連合自治会環境保全に関する協定書締結
- 4月 5日 広報「にしはりま環境事務組合」第7号発行
- 4月24日 第21回建設予定地周辺地域連絡協議会
- 5月18日 正副管理者会議
- 5月28日 第5回技術審査小委員会(神戸市)
- 7月 12日 「にしはりま循環型社会拠点施設(熱回収施設及びリサイクル施設)建設に係る工事発注図書作成等業務」入札執行
- 7月 19日 「環境測定分析業務」入札執行
- 7月26日 組合決算監査
- 7月30日 第6回技術審査小委員会(神戸市)
- 8月 13日 正副管理者会議
- 8月20日 にしはりま環境事務組合議会運営協議会
- 8月22日 八町川、鞍居川の底質調査
- 8月27日 にしはりま環境事務組合議会全員協議会
- 8月27日 にしはりま環境事務組合議会
- 8月28日 鞍居川(国光自治会上流)の水質及び底質調査
- 10月 16日 第7回技術審査小委員会(神戸市)
- 10月24日 井戸水調査(三原、三ツ尾、久保、弦谷、簡水取水地)
- 12月 3日 第22回建設予定地周辺地域連絡協議会
- 12月 19日 正副管理者会議
- 12月27日 入札参加者等審査会



[平成20年]

- 2月 5日 第23回建設予定地周辺地域連絡協議会
- 2月20日 「土地造成及び進入道路工事」入札執行
- 2月20日 正副管理者会議
- 2月21日 にしはりま環境事務組合議会運営協議会
- 2月28日 にしはりま環境事務組合議会全員協議会
- 2月28日 にしはりま環境事務組合議会
- 3月 3日 播磨・光都21自治会環境保全に関する協定書締結

[お詫びと訂正]

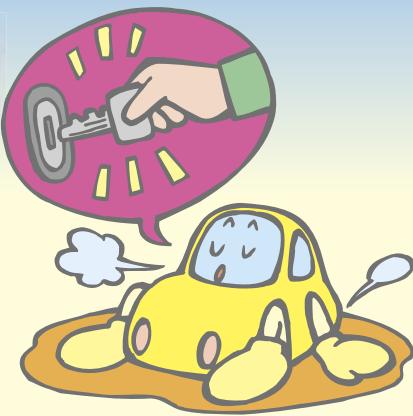
前号(第7号：平成19年4月5日発行)に記載しました、平成18年12月17日の「たつの市光都地区住民説明会」は、「たつの市光都・21自治会役員説明会」の誤りでした。訂正のうえお詫び申し上げます。

エコドライブを始めてみませんか!

地球と財布にやさしいエコドライブ 一人ひとりのドライバーの心がけで地球環境を守ろう

うららかな陽気に誘われる行楽などのお出かけや、もうすぐゴールデンウィークも控え、何かとドライブの機会が増える季節を迎えました。

そこで考えたいのが環境にやさしいエコドライブ。地球温暖化の原因となるCO₂排出量が削減でき、燃費向上の効果もあります。「エコドライブ10のすすめ」をご紹介しますので、できそうなものから始めてみませんか。



エコドライブ10のすすめ

1 ふんわりアクセル『eスタート』

「やさしい発進を心がけましょう。」

普通の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20kmが目安です)だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕をもって、ゆったりした気分で運転しましょう。



6 暖機運転は適切に

「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。



2 加減速の少ない運転

「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会が多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。



7 道路交通情報の活用

「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると、14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避け燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。



3 早めのアクセルオフ

「エンジンブレーキを積極的に使いましょう。」

エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される(燃料カット)ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。



8 タイヤの空気圧をこまめにチェック

「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。



4 エアコンの使用は控えめに

「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温度25°Cの時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



9 不要な荷物は積まずに走行

「不要な荷物を積まないようにしましょう。」

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。



5 アイドリングストップ

「無用なアイドリングをやめましょう。」

10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐停車の際にはアイドリングを止めましょう。



10 駐車場所に注意

「渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。」

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし、余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

